

開講科目名 / Course	母性看護学演習	
ターム・学期 / Term・Semester	2026年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	濱 耕子	
担当教員名 / Instructor	徳丸 由布子、永松 いずみ、濱 耕子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
授業回数	15	
科目の目的と概要	<p>妊娠期と産褥期、新生児期の正常・異常の看護について、アクティブラーニングを通して学習を深め、看護実践に必要な知識を養う。</p> <p>ウェルネスの視点から周産期における母子とその家族の全体像を把握し、対象者の看護過程を通して必要な援助ができる基礎能力を養う。</p> <p>母子の特徴を理解して、母性看護に必要な看護技術を修得する。また、演習体験を通して、看護を受ける対象者の状況や心理を推察する。</p>	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期、産褥期、新生児の生理や経過、その異常と看護について述べることができる。 2. 妊娠期、産褥期、新生児期各期におけるアセスメントの枠組みに基づいたアセスメントから看護過程を展開することができる。 3. 周産期に必要な母性看護技術を実践することができる。 	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探究心と創造力	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. ガイダンス、オリエンテーション（看護過程事例演習・技術演習） 02. 妊娠期の生理と看護 03. 母性看護過程：講義 04. 妊娠期の異常と看護 05. 母性看護過程：講義・事例提示 06. 分娩期・産褥期の看護 07. 母性看護過程：講義 08. 母性看護技術（1）妊婦計測、新生児計測 09. 母性看護技術（2）沐浴 10. 母性看護過程：事例検討・情報収集・アセスメント/グループ学習 11. 母性看護過程：事例検討・看護診断・看護計画/グループ学習 12. 母性看護過程：講義 13. 新生児期の看護 14. 看護過程事例発表会(1) 15. 看護過程事例発表会(2) 	
その他の授業の工夫	妊娠期、産褥期、新生児期の正常・異常の看護は、アクティブラーニングにより実施する。看護過程の演習は、各グループで実施し、お互いに意見交換することで学習内容を深める。	
時間外学修	母性看護援助論で学んだ講義内容やテキストに目を通し、知識を整理しておく（4h）。母性看護技術演習は学習課題を提示するので、事前学修をし、演習に臨む（2h）。看護過程のグループ学習は、必要に応じて学習内容を深める（6h）。	
評価方法と評価割合	妊娠期の生理と看護、妊娠期の異常と看護、分娩期・産褥期の看護、新生児期の看護（20%）、母性看護技術（30%）、母性看護過程（50%）とする。評価は別途指示した評価表を用いて行う。	
テキスト	ウェルネスからみた母性看護過程＋病態関連図（医学書院） 講義の中で適宜、資料を配布する。	
参考書	ウェルネスの視点にもとづく母性看護過程（医歯薬出版株式会社）	
履修する上で必要な要件	母性看護学概論、母性看護援助論、母性看護援助論 を履修済みであること。	
その他		
教員の実務経験	有・無	有

	内容	濱耕子：病院の助産師 永松いずみ：病院の助産師 徳丸由布子：病院の助産師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	エビデンスに基づいた看護と臨床経験をいかした看護を実践し、その理論と確かな技術を学生に指導する。	